

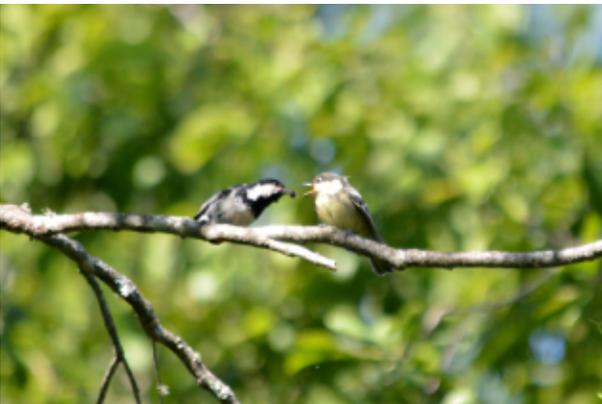
2018年7月号

7月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 262



## 梅雨がない？北海道…

日本各地で水害が多発している今年の夏。「梅雨がない」と言われる北海道ですが、7月に入ってから毎日のように雨の降る釧路地方です。

そんな中、貴重な晴れ間を縫っては生き物たちが一斉に動き出します。湿原の花々も例年通りに咲き始め、その花を目当てにして多くの昆虫が集まります。そして、その昆虫を狙う親鳥も大忙しです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【トキシウ】  
ラン科 朱鸞草  
ミスゴケ湿原に桃色の花びらがとてもきれいに映えます。高山植物でも知られますが、標高の低い釧路湿原にも花を咲かせます。



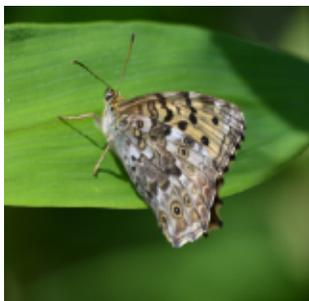
【エソノレンリソウ】  
マメ科 蝦夷連理草  
ヨシなどの他の植物に絡まって伸びるつる性の植物です。よく見ると花の色は淡い青や青紫、赤紫などバリエーションがあります。



【アカネムグラ】  
アカネ科 茜葎  
アカネ科の植物の中で、本種は比較的、花がわかりやすい種です。ちなみに「葎(むぐら)」とは、荒地などに見られる雑草の総称です。



【ドクゼリ】  
セリ科 毒芹  
この花が咲くと夏が来たと感じます。白い小さな花を房状に咲かせ、これを目当てに多くの昆虫たちが集まってきます。



【サトキマダラヒカゲ】  
タテハチョウ科  
今年はこのタテハチョウの仲間が温根内周辺を乱舞しています。樹液を好みますが、獣の糞に集まっていることもあります。



【クジャクチョウ (幼虫)】  
タテハチョウ科  
エゾイラクサを食草とするチョウの幼虫で、成虫とは似ても似つきません。このほか、植物には様々な昆虫や幼虫が集まっています。

○表紙の写真 上：ミスゴケ湿原 中右：ホザキシモツケの花に集まる昆虫 中左：ヒガラの親子 下：エゾオオヤマハコバ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

鳥たちの囀りは徐々に静かになり、それに代わって子育てをする姿が見られるようになりました。まだまだ観察できる野鳥の種類は多く、バードウォッチングの季節は続きます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【ニューナイスズメ】 夏鳥  
スズメ科 入内雀  
林の中から時折スズメに似た声が聞こえます。姿もスズメに似ますが、本種は頬が黒くありません。渡り鳥で、今は子育ての最中です。



【ベニマシコ】 夏鳥  
アトリ科 紅猿子  
新緑に赤い羽の色がよく映え、姿を見かけると嬉しくなる鳥です。意外とスラっとした尾をしています。鳴声は「ピッポ、ピッポ」。



【ヒガラ（幼鳥）】 留鳥  
シジュウカラ科 日雀  
幼鳥は成長と違って胸元が黒くなく、ハシブトガラに似ます。巣立ったばかりの幼鳥が5、6羽、親鳥の後を追いかけていきました。



【エナガ】 留鳥  
エナガ科 柄長  
雪の似合うエナガですが、この時期でも子育てしている姿を見かけます。真っ白い姿の冬と違い、頭部などが黒っぽくなっています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（6月15日～7月14日）和名は五十音順 \*外来種

■アカネムグラ■イグサ■イワノガリヤス■ウマノミツバ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾカンソウ■エゾニワトコ■エゾノカワヂシャ■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノレンリソウ■エゾムグラ■エンコウソウ■オオアワガエリ\*■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオツリバナ■オオバコ■オオバタネツケバナ■オオハナウド■オオヤマフスマ■オニグルミ■カキツバタ■カタバミ■カラコギカエデ■カラフトイソツツジ■カラフトノダイオウ■キツリフネ■ギョウジャニンニク■クサフジ■クサヨシ■クスダマツメクサ\*■クモキリソウ■クリイロスゲ■クロバナロウゲ■コタヌキモ■コツマトリソウ■コハコベ■コメツブツメクサ\*■コンロンソウ■サギスゲ■サルナシ（コクワ）■シオガマギク■シコタンキンボウゲ■シロツメクサ\*■シロバナエゾノタチツボスミレ■スズメノヤリ■スズメノカタビラ■セイヨウタンポポ\*■セイヨウノコギリソウ\*■タヌキモ■チシマアザミ■チシマガリヤス■ツメクサ■ツリバナ■ツルアジサイ■ツルウメモドキ■ツルコケモモ■トキソウ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナズナ■ナンバンハコベ■ノミノフスマ■バイケイソウ■ハナタネツケバナ■ハルザキヤマガラシ\*■ヒトフサニワゼキショウ\*■ヒメカイウ■ヒメジョオン\*■ヒメスイバ\*■ヒメタガラシ\*■ヘラバヒメジョオン\*■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■マムシグサ■マユミ■ミツガシワ■ミツバウツギ■ミツバツチグリ■ミミナグサ■ミヤマザクラ■ミヤマタタビ■ムラサキツメクサ\*■メマツヨイグサ\*■ヤガミスゲ■ヤナギトラノオ■ヤマブキショウマ■ヤマブドウ■ユキザサ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（6月15日～7月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■オオジシギ■トビ■チュウヒ■アリスイ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニューナイスズメ■ハクセキレイ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



○「夏の花を見に行こう」7月8日 参加者：13名

本格的な花の季節を迎えた夏の花々を観察する会を行いました。まず講師の大西氏からは、釧路湿原が実は黒部ダム3杯分もの貯水量を持つことがお話しされ、植物の話題では見頃のカキツバタをはじめ、既に実をつけたミツガシワの受粉の仕組みを教えてくださいました。ミスゴケ湿原ではトキソウの花やブルテ・シュレンケといったこの一帯特有の地形についてなど、マクロ・ミクロ両方の視点から見た釧路湿原をわかりやすく解説していただきました。

☆☆☆☆イベントのご案内（8月）☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪盛夏の花を見に行こう

〔日時〕8月5日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

♪ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～

〔日時〕8月12日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

☆☆☆☆☆ 温根内イベントカレンダー（8月）☆☆☆☆☆

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5 ♪盛夏の花を見に行こう	6	7 臨時開館日	8	9	10	11
12 ♪ザリガニウォッチング	13	14 臨時開館日	15	16	17	18 ♪PVスポットガイド
19	20	21 臨時開館日	22	23	24	25
26	27	28 臨時開館日	29	30	31	

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪釧路湿原自然と歴史を訪ねて

〔日時〕8月11（土）10：00～14：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕300円

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～熱中症にご注意を！～

温根内木道周辺は日陰になるような箇所がありません。長時間木道を歩く際は熱中症にならないよう、こまめな水分・塩分補給を心がけてください。



月刊 温根内通信 No.262

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料